

放課後等デイサービスタッチ 支援プログラム

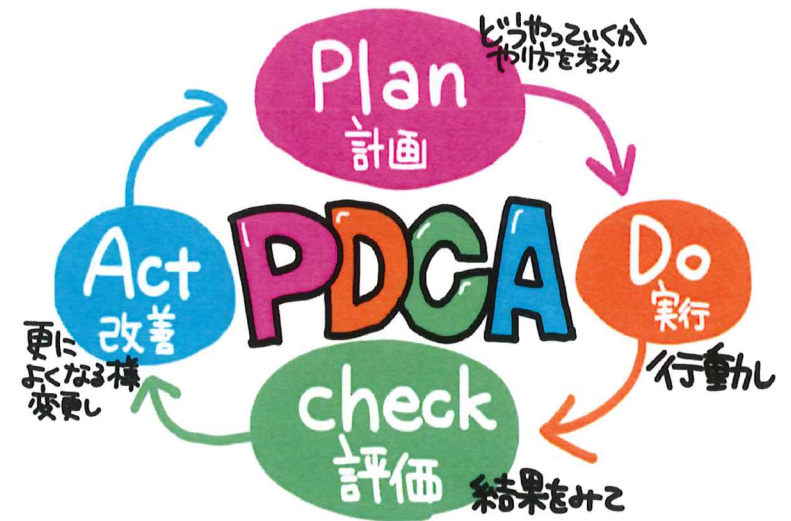
作成年月日 2025年3月1日

* 作成手順

- ・利用児童、生徒の状況、状態、特性を把握する。

家庭、教育・保育現場、医療、福祉等利用児童生徒に関わる様々な立場の方々からの聞き取りを元に、タッチ独自のアセスメントツールを使用し、個別の支援プログラムを作成し、療育を実践する。


評価と修正を定期的に行う。





法人理念

のんきな農場は 季節それぞれの
太陽と空 風と水
他の花に先駆けて咲く
梅の時期から土を作り
種をまき 苗を育て収穫する
そのコツコツと 単調なまでの
地道で 根気のいる農作業を
ゆっくり のんびりと育て
喜んで おもしろがる
そんな農作業の中で 育てた農産物を
元気と共に 皆様にお届けするのが
私たちの役割です
このことがいつしか
働く気力や 体力を養い
ハンディをもっている生活のできる基盤を
自らの手で つかみ取る姿に 発展したとき
彼らの 本当の力の偉大さを 知ることでしょう



職員理念

気持ちにいちばん近い暮らし
だいじょうぶですか！と
あなたの今を気遣います
あなたのこれからを気遣います
そんな家族の気持ちと同じ思いを胸に
私たちは
福祉サービスの質に取り組んでいきます
必要なサービスと
必要になるかもしれないサービスを
いち早く心に寄り添って
安心とともに お応えできること
今も これからも ずっと先も
あなたと 家族を 支える力になること
それが 私たちE.G.Fの願いです

支援方針

タッチの基本方針

○心と身体をつくり、学習や運動ができる基盤づくりを行う取り組みを療育として実践していきます。

○子ども一人ひとりの将来を共にみています。将来的に「なんとかなる」ではなく今から「なんとかする」という姿勢が大事という思いを持って支援にあたっています。

*療育とは、元来は高木憲次先生が作った造語である。身体障がい児・者の為の言葉で「療育とは現代の科学を総動員して不自由な肢体を出来るだけ克服し、それによって幸いにも回復したる回復能力と残存する能力と代償能力の三者の総和（これを復活能力と呼称したい）であるところの復活能力をできるだけ有効に活用させ、以て自活の途の立つように育成すること」であると考えられている。

タッチでは療育の考え方を元に医学・教育・福祉等様々な視点から持てる力を総動員して、チームで子ども達を支援していくことを目的とする。

• 営業時間

平日 月～金曜日

12:00～18:00

学校休業日・長期休暇

土曜は小集団月に2回開所

8:30～17:30

日・祝日は閉所

(その他法人行事により閉所あり)

• 送迎実施の有無

【あり】

主な行事等

4月

- ・春休み対応
- ・お花見
- ・保護者会
- ・法人春の収穫祭

6月

- ・カヌー活動

7月

- ・七夕
- ・夏休み対応
- ・ソーメン流し

8月

- ・夏休み対応
(お出かけなど)
- ・療育キャンプ

10月

- ・秋休み対応
- ・法人秋の収穫祭
- ・ハロウィン

11月

- ・親子遠足

12月

- ・クリスマス行事
- ・冬休み対応
- ・事業所アンケート

1月

- ・冬休み対応
- ・初詣

2月

- ・節分
- ・活動報告会

3月

- ・ひな祭り
- ・卒業生を送る会
- ・春休み対応